

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ジェイホールディングス  
 コード番号 2721 URL <http://www.jholdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 加藤 篤彦  
 (氏名) 澤畑 輝彦

TEL 03-6430-3461

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	268	—	△79	—	△105	—	△105	—
23年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △105百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△7,939.65	—
23年12月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第2四半期	405	204	50.5	15,347.51
23年12月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 204百万円 23年12月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650	△33.6	△105	—	△100	—	△100	—	△7,503.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の修正については、平成24年8月10日公表いたしました「平成24年12月業績予想の修正及び評価性引当金の計上に関するお知らせ」をご参照ください。  
 当社は平成23年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年12月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率を記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	13,327 株	23年12月期	13,327 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	— 株	23年12月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	13,327 株	23年12月期2Q	13,327 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等について.....	2
4. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、住宅の安心・安全エネルギー確保に対する関心が強まるなか、当社はゼロエネルギー住宅、低ランニングコスト住宅としてイザットハウスを提案してまいりました。また、5月には新商品「ソラシア」を販売開始し、既存の商品と比較して、断熱性を更にアップさせることでランニングコストが低く、住宅本体価格はイニシャルコストを抑えたいいわゆる「高コストパフォーマンス住宅」となり、「高性能×低ランニングコスト×低イニシャルコスト」の新たなニーズに応えております。しかしながら「ゼロ・エネルギー化」に対する補助事業などの効果は下半期以降にずれ込むと予想されます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高2億68百万円、営業損失79百万円、経常損失1億5百万円、四半期純損失1億5百万円となりました。

なお、当社は前第2四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第2四半期連結累計期間との比較情報の記載は行っておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、「貸倒引当金」を46百万円積み増したことが挙げられます。

負債合計は2億円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、「長期借入金」が16百万円減少したことが挙げられます。

純資産合計は2億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円減少し、自己資本比率は50.5%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月10日付で平成24年12月期第2四半期及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年8月10日開示の「平成24年12月期業績予想の修正及び評価性引当金の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において、重要な営業損失79百万円、経常損失1億5百万円及び当期純損失1億5百万円を計上するに至ったことから、継続企業の前提に関する重要事象等が存在していると認識しております。

当社グループは、同状況を解消するために、経費削減等の経営合理化策を継続的に実施していくとともに、事業の再構築及び財務の健全化に取り組み、経営資源の選択と集中を行う所存であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,839	26,286
受取手形及び売掛金	109,173	33,793
商品	33,241	24,140
未成工事支出金	38	4,203
短期貸付金	12,030	82,381
その他	15,970	30,247
貸倒引当金	△790	△11,390
流動資産合計	244,503	189,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	93,748	86,191
機械装置及び運搬具（純額）	4,285	3,790
その他（純額）	1,333	980
有形固定資産合計	99,367	90,962
無形固定資産		
ソフトウェア	16,275	11,145
その他	293	293
無形固定資産合計	16,568	11,439
投資その他の資産		
長期貸付金	108,280	32,679
破産更生債権等	32,077	46,078
敷金及び保証金	53,579	45,499
長期未収入金	—	54,079
その他	1,122	624
貸倒引当金	△30,377	△65,969
投資その他の資産合計	164,683	112,991
固定資産合計	280,619	215,393
資産合計	525,122	405,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,479	31,865
1年内返済予定の長期借入金	28,176	30,524
未払法人税等	1,660	1,460
その他	31,749	52,419
流動負債合計	113,065	116,269
固定負債		
長期借入金	67,740	51,304
長期預り保証金	30,700	30,700
その他	3,269	2,246
固定負債合計	101,709	84,250
負債合計	214,774	200,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	226,589	226,589
資本剰余金	190,484	190,484
利益剰余金	△106,725	△212,537
株主資本合計	310,347	204,536
純資産合計	310,347	204,536
負債純資産合計	525,122	405,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	268,737
売上原価	201,171
売上総利益	67,565
販売費及び一般管理費	147,365
営業損失(△)	△79,799
営業外収益	
受取利息	1,293
受取手数料	97
償却債権取立益	12,747
その他	35
営業外収益合計	14,174
営業外費用	
支払利息	725
支払手数料	312
貸倒引当金繰入額	35,439
支払補償費	2,931
その他	76
営業外費用合計	39,485
経常損失(△)	△105,111
税金等調整前四半期純損失(△)	△105,111
法人税、住民税及び事業税	700
法人税等合計	700
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△105,811
四半期純損失(△)	△105,811

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△105,811
四半期包括利益	△105,811
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△105,811
少数株主に係る四半期包括利益	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△105,111
減価償却費	13,534
貸倒引当金の増減額(△は減少)	46,193
敷金及び保証金償却額	566
受取利息及び受取配当金	△1,293
支払利息	725
売上債権の増減額(△は増加)	64,052
長期未収入金の増減額(△は増加)	△54,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,936
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△14,000
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△7,545
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,614
その他の流動負債の増減額(△は減少)	33,411
未払消費税等の増減額(△は減少)	184
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,292
その他	254
小計	△39,079
利息及び配当金の受取額	1,010
利息の支払額	△725
法人税等の支払額	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	
保険積立金の積立による支出	△60
保険積立金の解約による収入	304
短期貸付金の増減額(△は増加)	86
長期貸付金の回収による収入	4,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△14,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48,552
現金及び現金同等物の期首残高	74,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,286

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。